



うだ夢創の里市民共同発電勉強会の様子

一般社団法人 地域未来エネルギー奈良

地域発！みんなでつくる 再生可能エネルギー 「奈良モデル」づくり

一般助成

2年目

実践

モデル地域における再生可能
エネルギー事業化地域数

3地域

自然エネルギー学校の参加者
によるネットワーク構築参加者数

59人

活動の全体目標に
対する達成度

60%

課題

奈良県山間地の過疎化、高齢化、耕作放棄地の増加、森林荒廃、産業の活力低下やエネルギーセキュリティの脆弱性について、再生可能エネルギーの導入等により解決を図る。

活動内容

- ①「奈良モデルづくりプロジェクト」は、活性化につながる東吉野村小水力発電所の事業化や、宇陀市のNPOの太陽光市民発電所づくりを支援。
- ②人材育成を目的に「自然エネルギー学校・なら」を4回連続で開講し、20名が参加。
- ③県および市町村やNPO、生協によるネットワーク形成と協働の深化を目的とする「再エネ協働ネットワーク連絡会」を2回開催し、木質バイオマス利用や行政との協働事業の先進事例を共有した。



自然エネルギー学校・なら
西栗倉村研修

今後の課題

奈良地域は森林資源が豊富であることから、奈良地域としては、熱利用を推進していくことがエネルギー自給を推進していく上でも重要なポイントとなり得ると考え、木質利用や太陽熱利用を推進していく。

成果と工夫した ポイント



成果

設立支援した「市民エネルギー生駒」の市民共同発電所が27年度に2基、28年度に「うだ夢創の里市民共同発電所」が1基、東吉野村つくばね小水力発電所が1基完成。水車プロジェクトは山間部で波及している。

工夫

山間地の市民共同発電所では農産物を寄付や協力金のお返しとし、都市部と山間地の交流を意識して支援した。